

家庭・地域用

* 地域・家庭・江戸川小中学校での共同指導目標 * 「8つの種」

こどもは、「家庭でしつけ、学校で学び、地域で磨かれる」といいます。学校と家庭・地域が共同指導目標を掲げ、実行することで、子供の成長が確かなものとなります。以下の8つの種まきにご協力くださるようお願いします。

1、善悪の区別をしっかりとつける。

やってはいけない事、人に迷惑をかける事は、最後までしっかりと正すようにしましょう。

2、「おはよう」を始めとし挨拶することや美しい言葉を身に付けさせる。

毎日、家族同士でも笑顔で声を出して挨拶を交わし、子供に手本を示しましょう。

3、基本的な生活習慣を身に付けさせる。

「早寝、早起き、朝ご飯」で、子供達の体と脳に栄養と活力をしっかりと注入して元氣よく学校に送り出しましょう。子供達の頭脳が8時10分から活発に働くためには、「早寝、早起き、朝ご飯」が大切です。

4、過保護・甘やかせ過ぎ等の過干渉に注意する。

家庭での教育力が低下していると言われる最大の原因とも聞きます。

子供が自ら考え行動する前に手や口を出し親のペースで進めてしまうことは、子供の自主性や個性を育む妨げとなります。

5、子供の良いところは警めて伸ばす。

子供の個性や良いところを伸ばす為、それらを見いだし警めて自信を持たせる事が大切です。

6、後片付けや年齢にあった手伝いを習慣づけ、家庭でも守るべきルールを作り実行させる。

自分の使った物の片付けや、簡単な家事の手伝いをする事により、責任感や自立心が育ちます。家庭内で約束事やルールを決め実行する中で、社会でのルールの大切さを学んでいきます。

7、子供に努力する事、我慢する事を教える。

いつでも、なんでも簡単に手に入ると、努力や我慢を忘れ欲求を制御できなくなります。

8、思いやりのある心豊かな子供を育てる。

年少者やお年寄りに優しく接したり、小動物や草花を大切にしたり等、思いやりの心をいろいろな機会に身に付けさせるようにしましょう。